

令和6年度第3回 熊本市上下水道事業運営審議会

【社会資本総合整備計画【第3期】（事後評価）】

【下水道事業】

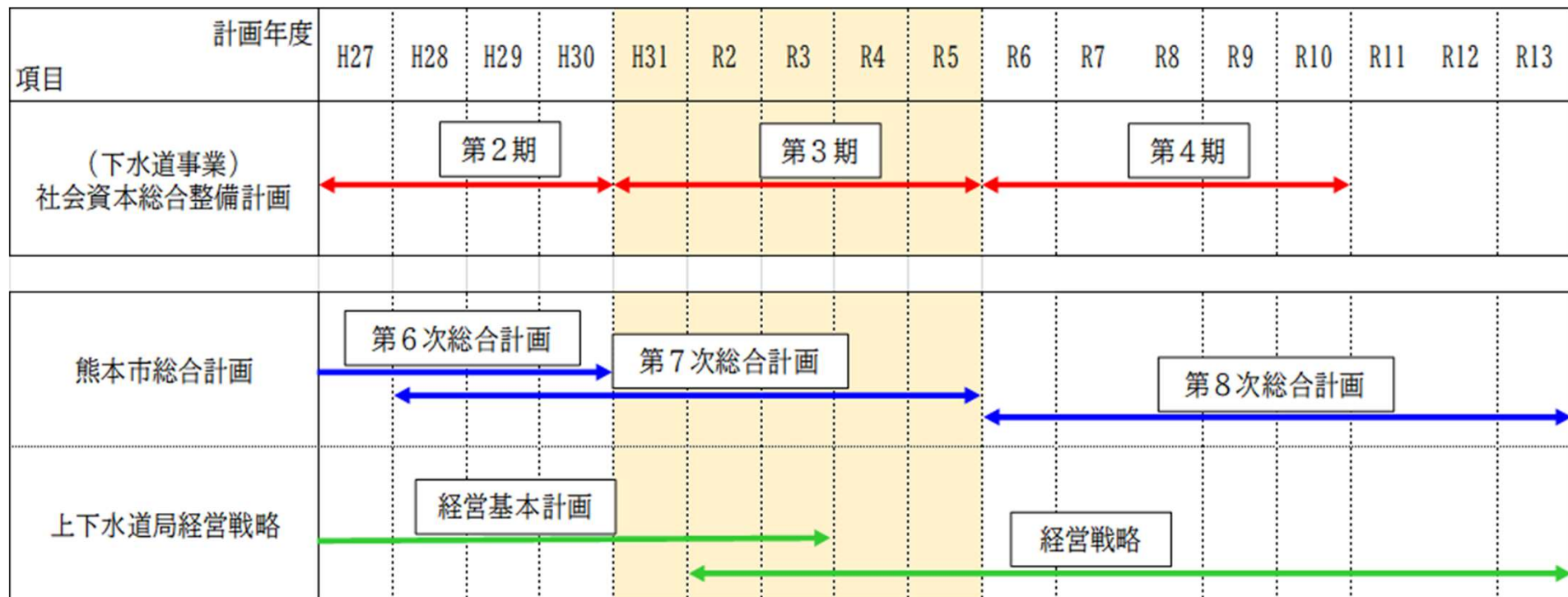
日時：令和6年11月1日（金）
場所：熊本市上下水道局

次 第

社会資本総合整備計画（事後評価）【下水道事業】

- 1 社会資本総合整備計画と熊本市および上下水道局経営計画との関連性
- 2 社会資本総合整備計画について
 - （１）社会資本整備総合交付金とは
 - （２）社会資本総合整備計画の概要について
 - （３）対象事業の概要説明
- 3 事後評価について
- 4 今後のスケジュール

1 社会資本総合整備計画と熊本市および上下水道局経営計画との関連性



熊本市公共下水道事業【第1期】 H22～H26

事後評価 H28実施済み

熊本市公共下水道事業【第2期】 H27～H30

事後評価 R3 実施済み

熊本市公共下水道事業【第3期】 H31～R5

事後評価 R6 今回

熊本市公共下水道事業【第4期】 R6～R10

2 社会資本総合整備計画について

(1) 社会資本整備総合交付金とは

【目的】

社会資本整備総合交付金は、地方公共団体等が行う社会資本の整備その他の取組を支援することにより、交通の安全の確保とその円滑化、経済基盤の強化、生活環境の保全、都市環境の改善及び国土の保全と開発並びに住生活の安定の確保及び向上を図ることを目的とする。

社会資本整備総合交付金
(成長力強化や地域活性化等につながる事業)

防災・安全交付金
(「命と暮らしを守るインフラ再構築」、
生活空間の安全確保を集中的に支援)

◇ 社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。

◇ 防災・安全交付金は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組を集中的に支援するため、平成24年度補正予算において創設。

◇ これらの交付金は、市が実施する公共事業のうち、維持・管理に係る事業、災害復旧に係る事業等を除いた、国庫補助事業に該当。

2 社会資本総合整備計画について

(2) 社会資本総合整備計画の概要について

熊本市上下水道局における社会資本総合整備計画【第3期】

【社会資本整備総合交付金】

- ・ 熊本市公共下水道事業【第3期】(H31～R5)
- ・ 熊本市公共下水道事業【第3期】(重点計画)(R1～R1, R5～R5)

【防災・安全交付金】

- ・ 熊本市公共下水道事業(防災・安全)【第3期】(H31～R5)
- ・ 熊本市公共下水道事業(防災・安全)【第3期】(重点計画)(H31～R5)

事後評価
対象

<計画の目標>

公共下水道の着実な整備を行い、熊本市総合計画に掲げられた「安全で利便性が高い都市基盤の充実」の実現に寄与する。

2 社会資本総合整備計画について

(3) 対象事業の概要説明

【社会資本整備総合交付金】

計画の名称 : 熊本市公共下水道事業【第3期】
計画の期間 : 平成31年度 ~ 令和5年度 (5年間)

計画の名称 : 熊本市公共下水道事業【第3期】 (重点計画)
計画の期間 : 平成31年度 ~ 平成31年度 (1年間)
令和5年度 ~ 令和5年度 (1年間)

計画の目標：公共下水道の着実な整備を行い、熊本市総合計画に掲げられた
「安全でだれにも優しく使いやすい都市基盤の充実」の実現に寄与する。

○重点計画とは・・・

国土交通省が優先的に取り組むべき下水道事業に対する支援を強化し、重点配分の対象となる事業のみで構成される整備計画に対して、重点的な予算措置が実施されるもの。

平成30年度～における重点配分項目

- ・社会資本整備総合交付金
 - 1) **アクションプランに基づく下水道未普及対策事業**
 - 2) PPP/PFI、下水汚泥のエネルギー利用、**広域化・共同化**の取組を推進するため追加的に必要となる下水道事業

令和2年度～における重点配分項目

- ・社会資本整備総合交付金
 - 1) **アクションプランに基づく下水道未普及対策事業(污水处理施設整備が概成していない団体に限る)**
 - 2) PPP/PFI、下水汚泥のエネルギー利用、**広域化・共同化**の取組を推進するため追加的に必要となる下水道事業

2 社会資本総合整備計画について

(3) 対象事業の概要説明

【社会資本整備総合交付金】

計画の成果目標：

- ①し尿処理施設の設置率を0 % (H29末)から1 0 0 % (R5末)に増加させる。 (1 0 0 % (R5末))
- ②下水道処理人口普及率を8 9 . 5 % (H29末)から9 1 . 2 % (R5末)に増加させる。 (9 1 . 0 % (R5末))
- ③西部浄化センター消化ガス発電設備(土木)完成率を0 % (R4末)から1 0 0 % (R5末)に増加させる。 (1 0 0 % (R5末))
- ④農業集落排水施設の統廃合に伴う測量設計実施率を0 % (R4末)から1 0 0 % (R5末)に増加させる。 (1 0 0 % (R5末))

全体事業費： 補助事業費 1 3 , 9 8 6 百万円

(主な事業内容)

- ・未普及解消：中部・東部・南部・西部
北部・富合・城南・植木処理区 幹線・枝線整備
東部浄化センター水処理増設 (12,006百万円)
- ・その他：し尿受入施設建設
西部浄化センター消化ガス発電設備(土木)工事
南部浄化センター下水汚泥由来繊維利活用システム設置 等 (1,980百万円)

2 社会資本総合整備計画について

(3) 対象事業の概要説明

【社会資本整備総合交付金】

補助事業費（社）：12,006百万円

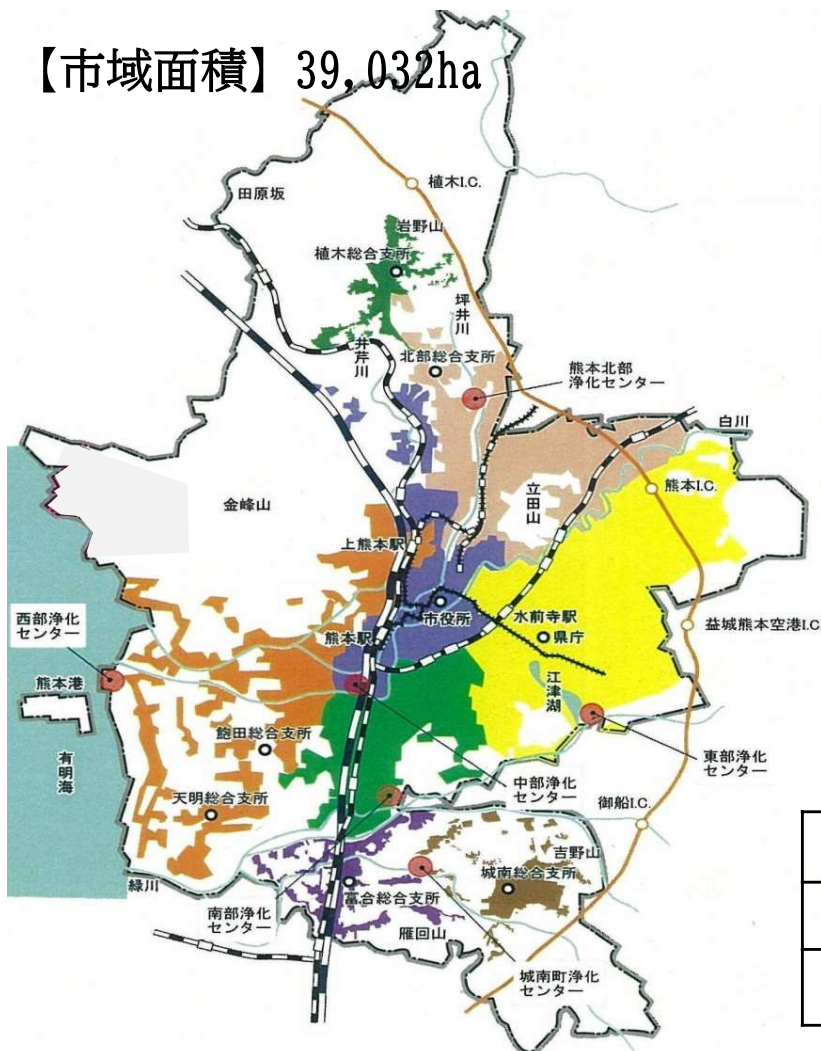
未普及解消：未普及地区へ公共下水道施設を整備し、生活環境の改善を図る。

【市域面積】39,032ha



中部・東部・南部・西部・北部・富合・城南・植木処理区
幹線・枝線整備

公共下水道事業計画区域 13,416ha



	H30	H31	R2	R3	R4	R5
下水道普及率(%)	89.7	89.9	90.3	90.5	90.8	91.0
整備済面積(ha)	11,756	11,899	12,033	12,173	12,283	12,385

2 社会資本総合整備計画について

(3) 対象事業の概要説明

【社会資本整備総合交付金】



東部浄化センター 水処理施設 増設

その他事業

補助事業費（社）：1,980百万円



東部浄化センター し尿受入施設



南部浄化センター 繊維利活用システム設置
(汚泥処理の効率化)

2 社会資本総合整備計画について

(3) 対象事業の概要説明

【防災・安全交付金】

計画の名称 : 熊本市公共下水道事業(防災・安全)【第3期】
計画の期間 : 平成31年度 ~ 令和5年度 (5年間)

計画の名称 : 熊本市公共下水道事業(防災・安全)【第3期】 (重点計画)
計画の期間 : 平成31年度 ~ 令和5年度 (5年間)

計画の目標：公共下水道の着実な整備を行い、熊本市総合計画に掲げられた
「安全でだれにも優しく使いやすい都市基盤の充実」の実現に寄与する。

○重点計画とは・・・

国土交通省が優先的に取り組むべき下水道事業に対する支援を強化し、重点配分の対象となる事業のみで構成される整備計画に対して、重点的な予算措置が実施されるもの。

防災・安全交付金における重点配分項目

・ 防災・安全交付金

- 1) 各地方公共団体が定める下水道事業計画に基づく雨水対策事業
- 2) 国民の安全・安心に確保に向けた以下の取組を推進するため追加的に必要となる下水道事業
 - ・ 南海トラフ地震、首都直下地震の対象地域における重要施設の地震対策
 - ・ **下水道総合地震対策事業** (国土強靱化地域計画に基づき実施するもの又は**マンホールトイレ整備**)
 - ・ 下水道施設の耐水化・非常用電源確保
- 3) 温室効果ガス削減効果の高い省エネ対策事業 (R4追加)
- 4) コンセッション事業に含まれる下水道施設の設置・改築 (R5追加)

2 社会資本総合整備計画について

(3) 対象事業の概要説明

【防災・安全交付金】

計画の成果目標：

- ①下水道施設の改築更新率を0 % (H29末)から1 0 0 % (R5末)に増加させる。 (1 0 0 % (R5末))
- ②下水道管渠の耐震化率を3 6 . 4 % (H30末)から4 2 . 5 % (R5末)に増加させる (4 3 . 7 % (R5末))
- ③マンホールトイレの整備率を3 7 . 5 % (H29末)から1 0 0 % (R5末)に増加させる。 (1 0 0 % (R5末))
- ④下水道施設の耐震化率を2 6 % (H29末)から3 5 % (R5末)に増加させる。 (3 8 . 4 % (R5末))
- ⑤都市浸水対策達成率を5 1 . 9 % (H29末)から5 4 . 5 % (R5末)に増加させる。 (5 3 . 3 % (R5末))

全体事業費： 補助事業費 1 3 , 1 1 0 百万円

(主な事業内容)

- ・改築更新：中部浄化センター汚泥処理設備改築
東部浄化センター汚泥処理設備改築 等 (10,606百万円)
- ・地震対策：幹線・枝線耐震化、マンホールトイレ 等 (1,549百万円)
- ・浸水対策：井芹川第8・10排水区 雨水管渠整備 等 (863百万円)
- ・その他：耐水化計画策定 等 (92百万円)

2 社会資本総合整備計画について

(3) 対象事業の概要説明

【防災・安全交付金】

補助事業費（防）：10,606百万円

改築更新：熊本市ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の改築更新を行い、施設の長寿命化を図る。



東部浄化センター汚泥脱水機設備改築工事



中部浄化センターB系消化槽改築工事

(主要事業)

- ・ 東部浄化センター汚泥脱水機設備改築
- ・ 中部浄化センターB系消化槽改築
- ・ 南部浄化センター主ポンプ設備改築
- ・ 西部浄化センター機械濃縮設備改築

	百万円				
	H31	R2	R3	R4	R5
事業費実績	1,624	2,853	2,384	1,762	1,982

2 社会資本総合整備計画について

(3) 対象事業の概要説明

【防災・安全交付金】

補助事業費（防）：1,549百万円

地震対策：熊本市下水道総合地震対策計画に基づき、下水道施設の耐震化を図る。

マンホールトイレ：熊本市下水道総合地震対策計画に基づき、マンホールトイレを設置。



中部処理区 幹線・枝線耐震化



マンホールトイレシステムの整備

浸水対策：「重点6地区における下水道浸水対策計画」に基づき、井芹川第8・10排水区の浸水対策事業を実施。

補助事業費（防）：863百万円

■対策内容（重点6地区）



「重点6地区 下水道浸水対策計画」



井芹川第8・10排水区 雨水管渠整備

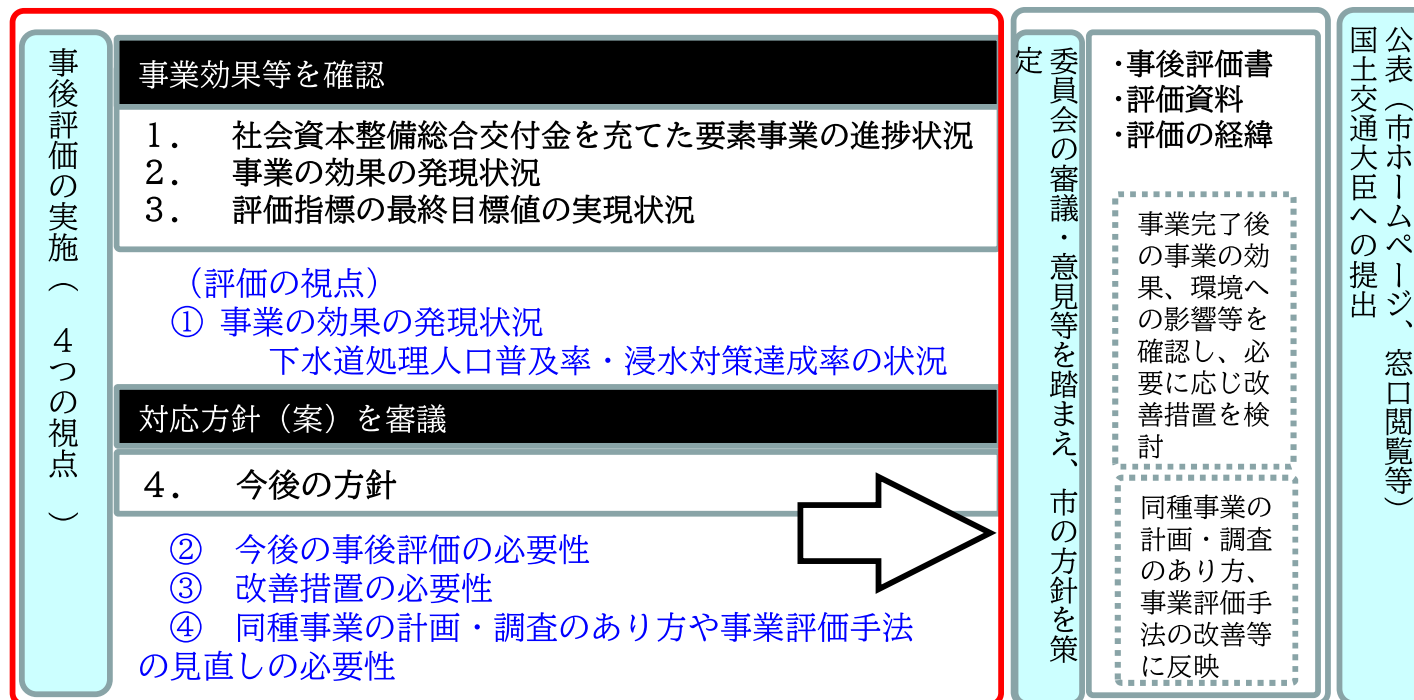


井芹川第8・10排水区 雨水ポンプ場建設

3 公共事業評価について 事後評価

事後評価の目的（社会資本整備総合交付金）

- ・ 公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るために実施。
- ・ 社会資本整備総合交付金要綱第10条第1項に基づき、交付期間の終了時には、整備計画の目標の実現状況等について評価を行い、これをインターネットの利用により公表するとともに、国土交通大臣に報告しなければならない。
- ・ 令和5年9月22日付国官会第16029号の通知文第3条第6項において、地方公共団体等は、事後評価の実施に当たっては、評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者等の第三者の意見を求めるよう努め、当該意見を地域住民に対し公表するものとする。また、事業の成果を地域住民に対してより分かりやすく示すよう留意するものとする。



3 公共事業評価について 事後評価

過年度実施分

成果指標：  (目標を達成)、  (達成率80%以上)、  (達成率60%以上80%未満)、  (達成率60%未満)

計画名	検証指標名	基準値 (H26末)	基準値 (H28末)	実績値 (H30末)	目標値 (H30末)	評価(案)	第2期終了後の取組および今後の方向性
社	下水道処理人口普及率 (%)	87.9%	89.1%	89.7%	89.7%	 ・計画どおり目標値89.7%を達成し、順調に未普及地区への整備を進めることができた。 	・引き続き未普及地区への公共下水道整備を進めており、今後も更なるコスト縮減や事業の効率化を図り、未普及地区解消のため事業を推進していく。
	〔下水道を利用できる人口(人)／総人口(人)〕	645,030人 /733,516人	651,795人 /731,754人	656,907人 /731,933人	663,743人 /739,959人		
社・防	合流区域の下水道 (管路施設)長寿命化 計画策定率(%)	0%	—	100%	100%	 ・計画どおり合流式下水道の管路施設について全区域(100%)の長寿命化計画が策定できた。 	・「管路施設の長寿命化計画」については、「下水道ストックマネジメント計画」へ発展継承した計画を平成30年3月に策定した。本計画に基づき、管路施設の改築更新を実施している。今後も年間2.5kmを目標に計画的効率的に管路の改築工事を実施していく。
	〔長寿命化計画策定済みブロック数／策定予定全ブロック数〕	0ブロック /10ブロック	—	10ブロック /10ブロック	10ブロック /10ブロック		
社・防	施設の改築更新率(%)	0%	—	81.4%	100%	 ・熊本地震の影響で、災害復旧事業等との調整により、対象事業が先送りとなり、目標値100%を下回る81.4%となった。 ※残りの施設については令和3年度完了予定	・「下水道施設の長寿命化計画」から移行した「下水道ストックマネジメント計画」(H30.3策定)に基づき、浄化センター・ポンプ場の改築更新を実施している。 今後も計画的効率的に施設の改築更新工事を実施していく。
	〔計画期間内更新済施設(施設数)／計画期間内更新対象施設(施設数)〕	0施設 /43施設	—	35施設 /43施設	43施設 /43施設		
防	下水道による都市浸水 対策達成率(%)	50.9%	50.9%	54.7%	54.7%	 ・計画どおり目標値54.7%を達成することができた。 (達成率: 浸水対策完了済5,379.5ha /浸水対策予定面積5,379.5ha=100%) 	・引き続き重点地区について整備を進めており、今後も浸水被害の早期解消のため事業を推進していく。
	〔浸水対策完了済み面積(ha)／浸水対策を実施すべき面積(ha)〕	5,006.8ha /9,834.2ha	5,006.8ha /9,834.2ha	5,379.5ha /9,834.2ha	5,379.5ha /9,834.2ha		
防	施設の耐震対策 実施率(%)	25.3%	26.1%	29.4%	29.9%	 ・熊本地震の影響による入札不調等により、期間内に1施設の耐震対策工事が実施できなかったために、目標値を下回る29.4%となったが、概ね順調に進んでいる。 (達成率: 実施済59/対象施設60=98%) ※残り1施設については令和3年度完了予定	・熊本市下水道総合地震対策計画に基づき、管路施設の耐震化や浄化センター・ポンプ場の耐震対策を実施している。 今後も各々の改築更新時期との整合を図りながら、順次施設の耐震対策を実施していく。
	〔耐震対策実施済施設数(箇所)／下水道総施設数(箇所)〕	50箇所 /198箇所	52箇所 /199箇所	59箇所 /201箇所	60箇所 /201箇所		
防	マンホールトイレの 整備率(%)	—	46.4%	100%	100%	 ・計画どおり目標値100%を達成することができた。 	・熊本市下水道総合地震対策計画に基づき、熊本市地域防災計画との整合を図りつつ、今後も事業費確保に努め、順次避難所等への設置を進めていく。
	〔計画期間内整備済基数／計画期間内整備予定基数〕	—	65基 /140基	140基 /140基	140基 /140基		

4 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて（案）

